

医療・介護・保健所・福祉の現場を充実させるために、コロナ禍、「訴えたいこと」「悲しかったこと」「うれしかったこと」「怖かったこと」「困ったこと」「従事者への激励」など、様々な立場から菅首相に手紙を書きましょう。

菅首相への手紙 コロナ禍 私が経験したこと

拝啓 菅義偉首相様

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。そのため、保健所や病院はギリギリの状況です。新型コロナに感染した人も、今すぐ治療を必要とする一般の人、病棟のベッドがいっぱいで入院できずに、自宅や施設で命を落とす方が出ています。きちんとした治療を受けられれば助かったはずの命です。

医師や看護師、介護職、保健師たちは懸命に働いていますが、限界が近づいています。

病床数を削り、医療・福祉従事者を減らす計画は間違っています。

私が、この1年半余りのコロナ禍で経験したことを、ぜひ読んでください。そして、「たった一つのお願ひ」を聞いてください。国民の命と健康を守るために。

敬具

菅首相への手紙

公表可

公表不可

※どちらかに丸をしてください。



コロナ禍 私が経験したこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

菅首相へのたった一つの私のお願い

.....

.....

.....

.....

.....

都道府県

ご職業

年齢

よろしかったらご記入ください お名前

連絡先



医療・介護・保健所の削減やめて!いのちまもる緊急行動

【呼びかけ団体】 全労連・社協・医団連(保団連、全日本民医連、医療福祉生協連、新医協、医労連)

事務局 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連内 TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620 HP <https://inochimamoru.net/>

【菅首相への手紙の取り扱い】①事務局または呼びかけ団体へお送りください。②菅首相に事務局から届けます。③政府や自治体への要請に活用します。

削減やめて! 充実させてください

政府は医療・介護・保健所を

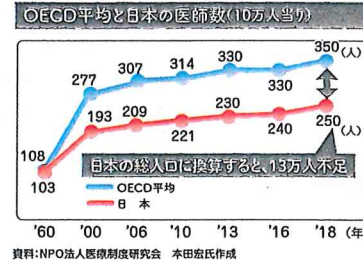
コロナ禍、緊急の呼びかけ
政府は、日本の病床数が他国と比べて多いと言っていますが、日本のコロナ感染者は欧米よりはるかに少ないのに、病院に入院できずに自宅や施設で亡くなる人が相次いでいます。病院や保健所を減らし続けてきた結果です。

医師、看護師、介護職、保健師の努力は限界を超えています。それでも政府はさらに医療を削減し、現場の長時間労働も放置しようとしています。

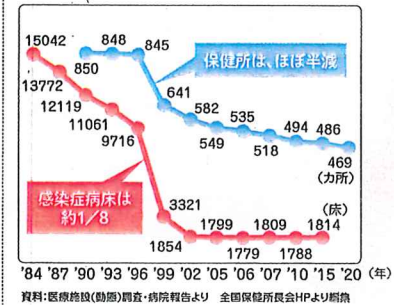
もう黙ってはいられません。あなたの声で、医療・介護・保健所を充実させる政策に転換させましょう。

日本の医師・看護師は足りない

医師はOECD平均から13万人不足、看護師は100床当たりの数で米国の1/5、英国の1/3です。



病院と保健所の拡充が必要です



あなたの力が 必要です

ネット署名にご協力を

- 医師・看護師・介護職・保健師を増員してください。
- 保健所を増やしてください。公立・公的病院を充実させ、感染症病床を増やしてください。

首相に手紙を送ろう(裏面へ)

地元の議員に働きかけよう

街頭宣伝やSNSで拡散しよう

賛同人・賛同団体になってください

募金にご協力をお願いします

個人1口 1000円 団体1口 5000円

*ホームページに掲載をご希望される場合は、振込日とお名前を事務局までご連絡ください。この行動の成功のために使わせていただきます。

中央労働金庫荒川支店 店番号311
普通口座112200
名義 医団連 代表 森田進
(イダンレン ダイヒョウ モリタススム)

アピール行動に参加しよう! 9月5日は全国一斉行動
#医療・介護・保健所を本気で充実させる全国一斉蜂起0905

医療・介護・保健所の削減やめて!いのちまもる緊急行動

【呼びかけ団体】 全労連・社協・医団連(保団連、全日本民医連、医療福祉生協連、新医協、医労連)



首相への手紙

友人の保健師さんの仕事の大変さはさることながら、患者さんが亡くなってしまったと聞くと精神的なダメージも大きいと言っていました。帰宅しても夜中に電話がはいたりしてゆっくり寝られないと言っていました。異常です。医療現場・介護現場・保健所削減は絶対やめてください。

コロナ禍私が経験したこと

エッセンシャルワーカーとしてスーパーで働いているのですが、コロナ禍でライラしているお客様も多く、「ここは最低のスーパーだ」などの心ない言葉をあびせられたこと。
今年1月に亡くなった叔母の葬儀に参列できなかったこと。
県外の介護病棟に入院している母ともう1年半も面会できていないこと。
(埼玉、スーパー従業員、60歳)

首相への手紙

母子家庭は国からの援助を受けて生活していると多くの方が持っているイメージがあると思います。でも実際は母子扶養手当や医療費が免除されるのはごく一部の低所得の母子家庭であり、ほとんどの世帯は共働き世帯と同じほどの教育費や生活費の負担があり母親が一人で抱えている問題です。どうかどの子どもも平等に教育を受けられる権利を与えてください。(島根、保育士、43歳)

コロナ禍私が経験したこと

コロナ禍、子育て世帯(ひとり親世帯)生活支援給付金が決定したときにとてもうれしかったが、母子扶養手当を受給している家庭が対象であり、自分は同じ母子家庭でも給付が受けられませんでした。同じ立場でも、仕事を一生懸命こなしていることで、逆に給付が受けられない・・・ということにとっても残念な思いでした。
(島根、保育士、43歳)

首相への手紙

20年春の第1波から今回で五波を経験し全国の保健所も悲鳴を上げ鳴りやまぬ電話に心身ともに疲弊しているというニュース報道もあり、今回のパンデミックに対し、菅首相含め政府はどのように受け止めているのか、不信感が募るばかりです。
(埼玉、会社員、60歳)

コロナ禍私が経験したこと

感謝を知りました。医師や看護師、介護職、保健師様、命をかけて私どもにつくしてくださり、本当にありがとうございます。菅首相、せめて多くの手当を支給してください。それしか感謝の念を示す方法はありません。
(埼玉、パート、63歳)

首相への手紙

国民の命と暮らしを守ることが政府の責任、と言葉でいうだけでなくまずは感染者を出さないための検査、そして医療、商売、生活への補償をしてください。
(群馬、71歳)

コロナ禍私が経験したこと

若い人はなかなかワクチンが打てない。感染してしまうのではないかとすごく心配しています。検査もなかなか受けられません。いつでも、誰でも何度でも受けられなければ感染は止まりません。
(群馬、66歳)

首相への手紙

体調が悪くなったらいつでも病院に行って診てもらえる、治療してもらえる、こういう安心がほしい。
(群馬、74歳)

コロナ禍私が経験したこと

仕事を失いました。パート・アルバイトでなんとか今を生活していますが、子供を作ることもしかない、辛い状態です。

(東京、アルバイト、41歳)

首相への手紙

感染した十分な医療が受けられるようにしてほしい。臨時の病院を至急作ってください。

(群馬、66歳)

コロナ禍私が経験したこと

ワクチンの予約が取れなくて困っています。予約の開始日に仕事で、終わってから予約しようと思ってもとれませんでした。ワクチン接種勧められてもこんな状況ではできません。感染者数も増える一方で。(埼玉県)

首相への手紙

往診する診療所の先生も少ないし、大変なので多くの方が収容できる施設を一日も早く整備してください。保健所医療センターを増やしてください。(群馬、79歳)

コロナ禍私が経験したこと

コロナ禍のため大学の授業がオンラインになり、なぜ高額な授業料を払わなくてはいけないのか？自宅での授業のため、パソコン代、通信代、電気代と家計を圧迫しています。給付金をまた支給してください。(埼玉、パート、59歳)

首相への手紙

軽症、中症者の病棟を作してほしい。自宅療養は無理です。いままでの経験が全くいかされていない。日本なら作れるはずですよ。よろしくお願いいたします。(千葉、パート、48歳)

コロナ禍私が経験したこと

スーパーで働いています。昨年はコロナの不安が強いのかお客さんがイライラしていることが多く嫌な思いもたくさんしました(よく怒鳴られました)。実家にもなかなか帰れず今年は一歩しか帰っていません。コロナに感染はしていませんが毎日不安です。体調も壊しました(ストレス)。(千葉、パート、48歳)

首相への手紙

新型コロナウイルス感染症対策分科会からの提言もきちっと耳を傾け楽観的発想はやめていただき過去の状況分析を実施し、最悪の事態を想定し本気になって対策を講じていただくことをお願いいたします。(埼玉、会社員、60歳)

コロナ禍私が経験したこと

ワクチンの供給不足で未だにワクチンを接種できていません。今感染したら、助かる命も助からないのではないかと不安でいっぱいです。そんな状況なのに首相は自宅療養してくださいと、平気で発表しています。

実際は自宅で亡くなる人が増えているのが、現実なのです。野戦病院のようなものをプレハブで作って集中的にケアできる施設をすぐ作るべきです。(千葉、パート、52歳)

首相への手紙

もう一度給付金をお願い
したいです。

(長野、会社員、42歳)

コロナ禍私が経験したこと

毎日電車に乗って新宿を通過して通勤
しています。新宿は人通りも多くク
ラスタも多く発生しているのでコ
ロナ感染のリスクが高く、毎日ひや
ひやしながらの通勤です。早く気に
しないですむようになってほしい。

(東京、団体職員、59歳)

首相への手紙

コロナの事があったからと
言って、税金をあげないで
ください。

(長野、パート)

コロナ禍私が経験したこと

コロナで友人と友人のご
主人の収入が激減し、借
金を依頼されました。彼
女はガリガリに痩せてい
ました。

(東京、パート、42歳)

首相への手紙

国民の安全を守るといったので
言ったのであればコロナ感染者が
入院できる病院を増やし医師看護
師の増員をお願いしたい。国民の
命を守ってほしい。

(埼玉、パート、56歳)

コロナ禍私が経験したこと

息子が職場でコロナに感染しました。家
と職場とコンビニしか行ってなかったの
に感染防止のために手洗いや消毒やマス
クも私よりしていたのに今日、8月12日、
感染6日目で熱38, 5, 身体がだるいと
言っています。昨日5日目でホテルに移
ることができて、でもいつ急変するか心
配で、仕事にも集中できず、食事も喉を
通らない状態です。(埼玉、パート、61歳)

首相への手紙

政府が国民に伝えようとしている
ことが伝わっていない。伝達の方
法が非常に悪い。もっともっ
と色々な方法で伝えてほしい。

(埼玉、スーパーアルバイト、68歳)

コロナ禍私が経験したこと

8月19日現在、埼玉県ではコロナウイル
スに感染しても入院やホテル療養など医
療を受けることができません、家庭で療
養するしかない状況ですが、それでは十
分な薬も食料さえも手にいれることがで
きません。コロナ感染者が家庭に一人
でもいればその他の家族もうつてしま
うのは当然です。(埼玉、保健師、50代)

首相への手紙

中等症、軽症の人が自宅で死
なずに済むように今すぐ、仮
設の病院を地域に設置してく
ださい。

(埼玉、パート、62歳)

コロナ禍私が経験したこと

観光施設で調理業務をしていたが、団体予約がすべてキャンセルになり閉店になり退職することになりました。

(長野、会社員、42歳)

首相への手紙

マスクの義務化をしてください。私の住む杉並区では現在ワクチン接種も止まっております。2回打った方もいますが、マスクをしないで来店される方が増えています。(東京、スーパー店員、44歳)

コロナ禍私が経験したこと

医療従事者の方々には日々命を張って奮闘していただいております。私も販売業の人も多数のお客さまとの接客をする立場にあるので毎日感染リスクを負っています。

健康の心配もありますがコロナ禍以前と比べると、心無いことをいわれるお客様がふえたように思います。従業員の心の健康が非常に心配です。(埼玉、販売業、42歳)

首相への手紙

今、若い人や子供もコロナに感染している人が多い。我が家も電車で通勤している子供、保育園に行っている孫がいる。早くコロナが収束できるようにしてほしい。そしてコロナになったらだれでも入院できるようにしてほしい。

(千葉、店舗レジパート、62歳)

コロナ禍私が経験したこと

ワクチンを打てといわれても62歳の私がやっと8月半ばに1回目です。働き盛りの息子達はまだ打てない。政府から市町村への供給が滞っているからです。(埼玉、パート、62歳)

首相への手紙

ワクチンを接種したくても「副反応が出た時、仕事を休めない」という理由で接種できない人がいます。休みやすい職場環境を作ってください。

(京都、パート、41歳)

コロナ禍私が経験したこと

コロナ禍で医療従事者は盛んにメディアで取り上げられ、体制が逼迫していると各方面からエールが送られましたが、介護従事者は業務はなにも変わりませんでした。

ケアマネにも在宅勤務できる法律の整備をお願いします。コロナ予防接種も一般市民とほぼ同様の扱いでした。

(埼玉、ケアマネ)

首相への手紙

この度のコロナによる保健所のきしみ、医療関係の疲弊。効率追求のツケが回ってきているように思えてなりません。(大阪)

コロナ禍私が経験したこと

スーパーのレジパートをしています。マスクをしていない方の来店が多く(60代以上)買い物も少量で、毎日来店。会計時はマスクはずし紙幣をなめた指で触り、出している。→感染の恐怖を感じる。

またレジの混雑時に大声を出し怒鳴ったりレジ台を蹴ったりする60~80代の男性が多く見られる。(埼玉、パート、56歳)

首相への手紙

今年度の持続化給付金を出して自営業者を救ってください。居酒屋さんたちをお金で助けてあげてください。町を支えてきた私達の仲間を救ってください。（富山、83歳）

コロナ禍私が経験したこと

今はとても危険な状況なのに学校が普通に始まろうとしています。「子供達も危険」「私達親も危険」「私が仕事に関わる方も危険」なのではないかと・・・不安な気持ちが大きくなるばかりです。

危機感のない人達への怒りも増し自分の心が壊れてしまいそうで怖いです。（千葉、訪問介護員、34歳）

首相への手紙

リモートワークを推奨するのは良いと思いますが、保育の仕事はリモートで行うことは難しく、密にならないということも難しいです。できる限り努力はしますが、保育職のジレンマを知っていただければ、と思います。（島根、保育士）

コロナ禍私が経験したこと

外出を自粛しているというよりも、飲食店に行けないので買い出しに来店される方が大幅に増えました。職員の数は増やすこともできず忙しさだけですばかりです。会社は喜ぶでしょうが、働く者は負担が増えるのみ。（東京、スーパー店員、44歳）

首相への手紙

医療を守ってください。病床数を増やし医師、看護師への手当てを増やしてください。PCR検査をいつでも誰でもどこでも受けられるようにしてください。（島根、保育士、59歳）

コロナ禍私が経験したこと

これまで様々なところで仕事をしてきましたが、社会の経済状況で退職の危機に会うのは初めてです。

幸いにも退職はまぬかれましたが自分の意思ではなく退職させられるかもという不安がこんなにもショックなんだと強く感じました。

（京都、パート、45歳）

首相への手紙

職員の配置基準の改善。処遇改善をお願いします。子供達の命を守る仕事を軽視しないでください。（島根、栄養士、45歳）

コロナ禍私が経験したこと

保育園で働いています。コロナ禍での保育は命を守るため、たくさんの制限の中我慢を強いられています。仕方ないと思いますが幼少期に経験させてあげたいことを満足にできないジレンマと日々、闘っています。保育園は3密が避けられないため、いつ感染してもおかしくない状況の中で仕事をしていることも、不安やストレスの原因となっています。

（島根、栄養士、45歳）

首相への手紙

コロナ禍での仕事は身体的にも精神的にもよりしんどさを感じます。それでも私達が働くことで同じように懸命に働く保護者を支えていければとは思いますがその思いだけでは限界です。安心して休んだり生活が送れるよう処遇を改善し人員を増やせるようにしていただきたいです。（島根、保育士、27歳）

コロナ禍私が経験したこと

常にマスクをしておくことが難しい小さな子供達が集団で生活している保育の現場。保育者はマスクを着用し、消毒などできることはしていますが、ニュース等で保育園でクラスターが、小さい子にも感染が広がっている、という言葉を目にする度に自分たちの園でも同じようなことが起こったらと、不安が増していきま
す。(島根、保育士、27歳)

首相への手紙

母子扶養手当がもう少し広く受給できる
よう所得制限を考えてほしいです。一人
親は国から援助され暮らしているイメー
ジを皆さんお持ちのようですが、今の制
度では受給できるのは本当に所得のわず
かな少数世帯。(島根、保育士、43歳)

コロナ禍私が経験したこと

私は4月から保育士として働いています。
〔中略〕「こっちに来て」といわれた時
に子供の思いに応えられず申し訳ない気
持ちもあります。マスクをはずして子供
達と思い切り遊んだり一緒に給食を食べ
たりすることができる日に戻れることを
祈っています。(島根、保育士、21歳)

首相への手紙

子供の命を預かる仕事をしています。
今の賃金では生活するのがやっとです。
保育士の数を増やして安全な保育をし
ていくために賃金を上げてほしいです。
(島根、保育士、23歳)

コロナ禍私が経験したこと

9歳の男児、6歳の女児を育てる父親で
す。コロナ禍で小学校の行事が悉く中止
になっています。親としては子供の成長
を見る機会がなくなっているし、子供達
にしても、一生の思い出になるはずの運
動会や生活発表会などが中止で学校生活
にメリハリがなくなっています。
(兵庫、薬剤師、41歳)

首相への手紙

全国民のワクチン接種を進めることも
ありますが、感染拡大が進む中で命の
選択が行われぬよう自宅療養者も安
心して医療が受けられる体制作りをお
願いしたい。
(島根、保育園調理師、60歳)

コロナ禍私が経験したこと

濃厚接触者になった組合員は休業せざる
を得ず、その保障を受けるために、保健
所へ証明なるものを求めても出ず、結局
休業補償を受けられませんでした。保健
所の職員は感染者が増え、手が回らない
現状、自治体職員の応援をもらってもこ
の状況です。(千葉、組合役員、62歳)

首相への手紙

毎日繰り返される国民への政府からの
お願い。国民からのお願いは聞き入れて
もらえないにも関わらず、政府から一方
的にお願ひされるばかり。国民を納得さ
せられる姿勢の提示を本気でお願ひしたい。
(兵庫、薬剤師、39歳)

コロナ禍私が経験したこと

障害児施設で働いています。国も神戸
市も施設は開所し続ける事を要請してい
ます。障害特性からマスクができない。
距離が近い等感染リスクは高くなってし
まいます。
それでもクラスターになれば施設の自
己責任とされてしまいます。毎日不安と
緊張が続きます。
(兵庫、福祉職員、65歳)

首相への手紙

医療行為が必要な方が、治療や入院が受けられるよう病床数・医療、福祉従事者を削減しないでください。

(千葉、団体職員、36歳)

コロナ禍私が経験したこと

孫(20歳)が陽性反応がでたとのことで保健所の指示を待ってるとのことですが、4~5日たっても何の連絡もなく、こちらから連絡をいれても繋がらない状況とのこと。総理の安心説明はもう聞き飽きています。

(兵庫、無職、79歳)

首相への手紙

政府の発言に説得力がありません。何に関しても言えるのですが、例えばリモート出社をお願いするのであればまず、政府の会議をリモートにするなど見本を見せてください。国民への補償もない。法律の関係でロックダウンはできない。それではコロナは終息しないでしょう。

(兵庫、歯科衛生士、27歳)

コロナ禍私が経験したこと

コロナ対策の補助金の申請が煩雑。医療機関はただでさえ、収入は非課税、費用は課税のため消費税負担が大きいにも関わらず前年度の申請の補助金にたいして消費税分を割り戻すように連絡が来ている。その手続き自体が業務の負担となるし、初めから割り戻しを加味した申請(あるいは最初から加味しないと決めておく)とすればよかったですか?

(兵庫、事務、35歳)

首相への手紙

一日も早い日常の生活をしたい。
ワクチンを希望者に全員に。そして定期的なPCR検査を国の責任で。

(岩手、保育士)

コロナ禍私が経験したこと

私はコロナ禍でも仕事があるのですが、私の友達のご主人に死なれて遺族年金だけでは食べられるホテルの清掃の仕事をしてなんとか暮らしていたのですが、コロナで仕事が無くなり、大変な思いをしています。

(兵庫、パート、69歳)

首相への手紙

今一番重要な点は全国民へのワクチン接種とPCR検査の充実とともに医療・介護・保育現場等の民間事業に対する補償の公的財政支援が急ぎ必要です。医療機関や介護事業所、民間保育園が倒産してしまいます。

(新潟、ケアハウス職員、64歳)

コロナ禍私が経験したこと

コロナのせいでいきたかったところにもいけなくなったから。

ざんねんでした。

(小学1年生、7歳)

首相への手紙

全ての方の命と人権が守られみんなで声を合わせ、つながりあって、コロナ禍の危機を乗り越えていくことができるよう医療・福祉・保健所・介護の現場への支援を更に充実してください。

(京都、公務員、54歳)

コロナ禍私が経験したこと

1年半にわたる0コロナでもWITHコロナでもない同じことの繰り返しのだらだらした政策のため、私も回りも精神的にも金銭的にも疲弊し、コロナでなくても病気になっています。。（岩手）

首相への手紙

こんなに毎日病床・医療従事者が不足して入院できず、治療も受けられないまま亡くなる人が後立たないのに、公的病院をなくそうとしたり、医師の働き方を過労死するような制度に変えようとするなどもってのほか、やめてください。（埼玉、年金生活、70歳）

コロナ禍私が経験したこと

今迄経験したことないコロナの不安、恐ろしさ。今まで当たり前保育園の行事、生活をさせてあげられない辛さがあります。子供の成長は待ってくれません。今経験できない事が将来の様々な力に繋がってしまいかねません。子供を守り、自分の家族を守るために必死に働いていますが、先が見えません。（岩手、保育士）

首相への手紙

病床の削減はしない。コロナ病棟を増やし入院できる体制を作ってください。

（静岡、ケアマネジャー、65歳）

コロナ禍私が経験したこと

ある日、障害児を持つお母さんが「私がコロナに感染したら、誰がこの子をみてくれるのですか？濃厚接触者となってしまふこの子を預かってくれる所もない。本当に不安です。」と話されてました。私達訪問看護だけでは支援しきれない現実が目の前にあります。（千葉、訪問看護師、50歳）

首相への手紙

感染拡大により医療機関はもとより、保健所など担当行政も手一杯です。病床や行政担当職員を増やして命が守られる国の代表者の姿勢を示してください。（静岡、看護師、58歳）

コロナ禍私が経験したこと

コロナ禍において1年半以上にも及ぶ自粛と行動制限によりケアハウスで生活されている高齢者の方の生活の質が低下し認知症の発生や進行で自立した生活が送れなくなった方が多くなりました。今回の新型コロナウイルスの蔓延で高齢者の方々への影響が予想以上に重大であることを痛感しています。（新潟、ケアハウス職員、64歳）

首相への手紙

コロナウイルスにかかわってしまった方々が命を落とす等、2度と以前のような生活を楽しむことができなくなるといったことにならないよう、医療の設備や従事者を守ってくださるようお願いいたします。（千葉、会社員、33歳）

コロナ禍私が経験したこと

保健所が減らされたとき、もっとその必要を訴えなければならなかったのだと思います。らされました。（東京、事務員、77歳）

首相への手紙

感染拡大を止めてください。保健師
さんを増やしてください。病院、医
師、看護師を増やして安心して医療
が受けられる国にしてください。

(滋賀、公務員、55歳)

コロナ禍私が経験したこと

医療収入減による給料も減。
いつ感染してもおかしくない
職場環境への不安。

(熊本、看護師、45歳)

首相への手紙

児童クラブで限界を感じています。
施設面の改善を願います。子ども、
支援員のPCRの実施です。

(滋賀、支援員)

コロナ禍私が経験したこと

仕事をやめることになりました。休業が
長引き、先が見えない日が約1年ほど続
きました。仕事がなくなり、職場の雰囲
気が悪くなり新しい仕事を探し始め転職
しました。50代での転職、新しい仕事を
覚えるのは大変でした。

(広島、パート、50歳)

首相への手紙

医療従事者確保のため賃金を
もう少し増やしていただきた
いです。

(滋賀、看護師、25歳)

コロナ禍私が経験したこと

たった10万円の給付金。もう給
付はないのですか。コロナ禍での
無意味なオリパラ。税金の無駄遣
い。オリンピック開催費用で救え
る命があったはず。

(青森、公務員)

首相への手紙

定期的に職員も子供達も
PCR検査が受けられるよう
にしてください。

(滋賀、放課後児童支援員、58歳)

コロナ禍私が経験したこと

私の甥は奈良から大阪のスーパーに毎
日電車で通っています。それも大阪の繁
華街にあるスーパーです。

非正規職員のため周りでコロナ感染が
わかると休みを言い渡され、収入が半分
以下に減ったため、食事は1日1食しか
摂れませんでした。

(京都、団体職員、72歳)

首相への手紙

医療福祉従事者の現実を見てください。あの方
たちがオーバーワークしてくださっているから
こそ今のようですが、もう持たないと思います。ワ
クチン接種1本の政策はやめていただきたい。必
要な所にお金を使ってください。必要な人員を
増やしてください。

(滋賀、放課後児童支援員)

コロナ禍私が経験したこと

児童クラブで支援員をしています。
〔中略〕子供一人当たりの面積1.65は守れずコロナ禍の中では工夫はしていますが、限界を感じています。

密を避けるための施設面のこと、こども、支援員が安心して働けるようにPCRの実施をお願いしたいです。

(滋賀、支援員)

コロナ禍私が経験したこと

仕事（放課後児童支援員）においては、不十分な施設環境の中でいかに子供達を感染リスクから守るかということに、非常に神経を使っています。〔中略〕

距離を取りながら遊ぶなんて無理。それでは人間関係は築けません。子供が子供らしくくらしえない毎日・・・辛いです。

(滋賀、放課後児童支援員、58歳)

コロナ禍 私が経験したこと

小さな内科クリニックで、事務として働いています。〔中略〕電話口で訴えかけられることも多々あります。

電話は鳴り続けます。

私達は、息つく間もなく次の電話を取ります。

今日はもう診察は出来ません、明日も予約が空いてません、申し訳ありませんと、頭を下げ続けます。

そうした毎日が、もう何か月も続いています。(内科クリニック事務、29歳、埼玉県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

医療機関がコロナ病床を作れるように、十分な減収補填をしてください。

感染は仕方ないかもしれないけど、病院に入れない、という事態を招いたのは政府の無策です！

(教員、45歳、東京都)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

医療職も介護職も感染の不安がある中でぎりぎり患者様のため、利用者様のため働いている。もう少し手当を厚くしていただければ国民の不安は解消されません。(福祉職、埼玉県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

コロナ最前線に確実な危険手当支給を

(コロナ病棟勤務看護師、30歳、東京都)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

千葉県で感染した妊婦さんが入院できず自宅で出産し赤ちゃんが亡くなるという悲惨な出来事が発生し大変なショックを受けています。これからの世代を担っていく妊婦さんを大事にできない日本の現状に対して、ただでさえ少子化に歯止めをかけようとしても、こんなにも妊婦さんを大事にしない日本において誰も赤ちゃんを産もうという考えにならないと強く思います。(ケアマネジャー、67歳、千葉県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

徹底的な検査そして隔離による感染拡大防止を！成功してる他国を見習ってください。

(会社員、47歳、神奈川県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

この夏で結婚して3年、妊活を延期して1年になりました。

先日コロナにかかってしまった女性が自宅で出産し赤ちゃんが亡くなってしまった事件が起きました。言葉では表せない程の絶望を感じています。〔中略〕

この女性は私だったかもしれないし、将来の私かもしれないし。今子どもを望んでもいいでしょうか、もしコロナにかかってしまっても、医療にかかれるでしょうか。(会社員、28歳、東京都)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

医療従事者、特にコロナの患者さんに直接関わっている看護師は毎日戦っています。コロナ対応看護師への手当を増やして欲しいです。

(看護師、26歳、長野県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

ワクチン一つで何時間もスマホとにらめっこ……。子ども(孫)達は運動会、遠足にも行けず、学校ではマスクして生活。おかしいでしょう。私も旅行はもちろん、友達とも会食もできず、楽しいことすべて奪われました。(会社員、64歳、東京都)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

PCR検査をいつでも誰でも無料で受けられるようにしてください。医療や福祉・教育をはじめ、リモートワークできない職場のPCR検査を定期的実施してください。
(看護師、62歳、石川県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

スーパーに勤めていますが今でもマスクをせず店内に平気で入店してきます。マスク着用をお願いしていますが強制ではないので働く私たちの不安は大きいです。〔中略〕
おしゃべりも平気で自分たちは大丈夫だと思っている現状が働く私たちの精神状態をおかしくしていく。混んでくると怒鳴ってくるお客様も多く、なんでこんなことで怒鳴られなければいけないのかと理不尽なことも。体力的にも限界です。
(販売、55歳、東京都)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

医療従事者、特にコロナの患者さんに直接関わっている看護師は毎日戦っています。コロナ対応看護師への手当てを増やして欲しいです。
(看護師、26歳、長野県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

コロナ禍となり、私たち病棟スタッフは、COVID-19の病棟へ配属されました。〔中略〕関わってから一週間は「自分は汚い、誰かに感染させたらどうしよう。」連日呪文のように頭の中を駆け巡り、連日涙が止まりませんでした。更なる追い討ちにあったのは、お付き合いしている人に「COVID-19病棟へ配属された」と伝えたら、「付き合いえない」と振られました。コロナ禍になって、人間不信になり、自由を奪われ、時間が止まるという経験をしました。
専門家の方が、「8月はコロナの患者さんが増える」と宣言され予想されていたのに、どうして対策を考えてくださらなかったのですか？
(看護師、神奈川県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

勝手に雇用を切られてしまい、会社とのやりとりで不仲になりました。ただただ休業支援金申請に快くサインをしてくれれば生活も困ることなかったのに。会社のサインなどなくても契約書や雇用条件通知書でも受給できるようにしてほしいです。
(シフト制パート、54歳、岐阜県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

本当につらい。残業ありきの看護の仕事。今は自分たちを危険にさらして、ミスをしないように、感染に気をつけて、会えない患者家族にも気を使い、自分たち同士が感染し合わないように気をつけ、食事を黙って黙々とたべる、、、もう医療者をばかにするのはやめてください！もういい加減に戦闘機を買ったりするのはやめて、医療に力を入れてください！！〔中略〕
医療は最後の砦、どうにか人材を回して！手を打ってください！医療はバーンアウトしたら簡単には戻れない世界です。燃え尽きる前に手を打ってください！
(看護師、39歳、山梨県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

早く国会を開いて国会議員が党派を超えて一致して新型コロナ対策をすすめて下さい
(アルバイト、73歳、愛知県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

京都で働く看護師です。現場では発熱外来の対応やコロナ患者受け入れなどお断りしない努力をしていますが限界と感じています。家庭内感染など、自宅待機を余儀なくされるスタッフも増加、元々ギリギリの看護体制にさらに負荷がかかっています。それでも現場では、コロナ病床拡大の病院の決断にこころよく協力してくれました。救急外来でも使命感を持って断らず受け入れようとしています。
医療従事者に、コロナ疲れはありません。中途半端な緊急事態宣言でなく、感染拡大しない思い切った対策があります。
(53歳、看護師、京都府)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

自分たちの保身にばかり走らず、国民一人一人の命と生活を守るために政治をしてください。今第一線で頑張ってくれている病院関係者、保健所の人たちに手厚い支援をしてください。
(保育士、41歳、愛知県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

感染拡大が広がる中地域の行事の多くが中止となっています。地域のコミュニティが破壊さされ一人暮らしの高齢者など地域で孤立しています。また、町内の隣人がコロナ感染でお亡くなりになりました。適切な検査や治療が行われたのでしょうか不安になります。

(61歳、京都府)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

退陣の前に、臨時医療機関を全国数カ所に作ってください。

(教諭、57歳、愛知県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

パンデミックがわかったとき、自分たちが関与してこなかった政治の代償の大きさを実感した。政府があまりにも気楽で、自分たちの欲望以外には国民の命にすら無関心なことを実験することになった。ただコントロールされるだけの存在として扱われ、虫けら同然に足蹴にされるのだとわかった。

反面、まだ、法にのっとり、声を上げ意見を言い自治を構築して新しい未来を自分たちで拓いていくことも可能だとわかった。日々に流され、めんどくさい敬遠すべきこととして扱うように仕向けられてきた政治への参加を努力しようと思えた。(障害福祉サービス非正規支援員、56歳、大阪府)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

緊急事態宣言を出しても人々は暮らしを守るために、働き営業する事は必須です。こんな時こそ税金をしっかりと使って、国民の暮らしを支えることが必要です。ドーンとここでお金を使って下さい。

(保育士、京都府)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

コロナ禍 私が経験したこと

ワクチンの予約が出来なく困っています。

(看護師、59歳、福岡県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

診療報酬の大幅引き上げ

(理学療法士、54歳、福岡県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

看護師はコロナ感染のリスクが高い中でも患者の人生を支え続けています。私達にも命があります。家族がいます。人権があります。

医療業界は限界です。どうか助けてください。お願いします。

(看護師、42歳、大分県)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

首相へのお願い

一人一人が精神的に参加している。非課税世帯だけが免除される貸付でなく、一人一人に給付を。

(ホームセンターアルバイト、23歳)

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動